



理事長コラム

こっから祭りの成功を
もたらしたものは?

日中活動

紙すき班

就労移行支援

すたあと

こっから祭特集

居宅支援

ふゆーちやー

仲間自治会

なかまのちから

こっからの商品が買えるお店

香鈴都

豆腐セット紹介

とうふ工房一万丁記念

編集後記

Column

こっから祭の成功をもたらしたものは？

社会福祉法人こぶしの会 理事長 藤井 正紀

11月7日に開催したこっから祭は天気にも恵まれ、約1,000人の来客者を集め大盛況のうちに終わりました。関係者や地域の皆さんに支えられ大きく成功したこと心より御礼申し上げます。私は前から約束をしていた職員の結婚式に呼ばれていましたので、お昼までの参加となり、すべての方々にご挨拶をすることができなく本当に申し訳なく思っております。

さて今回はこのこっから祭にまつわることを少し書いておこうと思います。

まず歴史的なことですが、2001年（平成13年）10月に社会福祉法人こぶしの会が設立、その6ヶ月後の2002年4月にこっからの開所式、2003年5月にきょうされん奈良支部の誕生という経過になります。今年の10月がこぶしの会の10年目をむかえ、今年から来年に向けて大切な節目の年になり10周年記念行事をいろいろ計画しています。

次に、こっから祭の目的や意義についてですが、こぶしの会を支える力や組織を大事にし、それをさらに発展させたいという願いが基本となっています。

それには＜三つの力＞と＜三つの要素＞が必要だと考えています。

＜三つの力＞とは、法人こぶしの会、こっから家族会、こぶし後援会のことで、＜三つの要素＞とは、障害者団体や友好団体、地域住民や地域の諸団体、そして天候です。

まず三つの力の第1は法人です。こぶしの会は、現在五つの事業所や施設を運営しており、それらを利用されている人も100人近くに、職員数も40人近くになります。これらの人が力と知恵を出し合い、努力を惜しまずお互いに協力しあうことが一番大切です。年1回の祭を成功させるためには、その日だけではなく日ごろからの法人や職員の姿や態度が大切です。その日ごろからのつながりや関係の有無がこっからまつりに現れると思います。協賛金運動もその中の一つであり、今後ともこの姿勢を大切にしようと思っています。

第2は、こっから家族会です。第1回のこっから祭は7月の暑い日に夏祭りとして開催しました。主催はこぶしの会とこっから家族会とこぶし後援会の三者が共同して運営することとなりました。その後暑い夏を避け、第2回から秋祭りに変更しましたが、こっから祭の家族会の結束のよさと商売上手の手腕は定評で、奈良市内の各地域バザー等に出張販売にも出かけるなどで、どこへ出しても引けをとらないほどの腕前です。毎回10万円以上の利益をあげ、こぶしの会への寄付や家族会の設備、備品の整備を行っています。こっから祭の真の主役はこの家族会といっているほどです。ただ家族会も10年を迎えると年齢的にも大変で、あまり無理をしないよう今後も頑張っていきたいと思っています。

第3は、こぶし後援会の皆さんの頑張りで。後援会の役員には奈良県下の特別支援学校の先生方が中心ですが、当初からいろいろご苦労されています。特にバザーの運営は後援会の役割で、値段付けから販売まで、地域の人に“よいものを安く”をモットーに奮闘いただいております。このバザーは人気企画の一つで、毎年場所が狭くて、今回は入場の時間制限を実施しなるべく多くの方に参加いただくようにしました。

次に、こぶしの会の主役である仲間（利用者）の役割も大切です。第1回からメインの司会を担当していますが、最近のこっから祭の様子からみて、仲間が行っている、司会や仲間の店運営、ステージ出演等の役割をきちんと評価し、来年度から主催者団体になってもらうことを考えようと思っています。

＜三つの要素＞ですが、天候には毎年苦労と心配をしています。なぜか雨に見舞われる時もあり誰が雨男とか雨女だとかいいながらの実施でしたが今年は天候もよく天の恵みもいただいたと感謝しています。

後の二つの要素は、障害者団体や関係団体と地域住民や各種組織のお力添えです。今年も他団体や障害者の方が多く参加していただきました。協賛金やバザーへの協力、医療機関や個人での健康相談や各種診断など多彩な顔ぶれで盛り上げていただきました。

また地域からも今回は模擬店を出していただきましたし、参加数は入場者の半分以上を占めています。県道沿いの場所地域全体へ発信できるという地の利もありますが、障害者や地域の方々々が気軽に足を運んで、半日ゆっくりとくつろいでいただくことができたのは大きな成功でした。

障害者が、ある種の同情やお情けのみでしか生きられないという社会から抜け出し、障害者の人も精一杯生きる、こっからの商品は美味しい、こぶしの会の企画は面白いし有意義だなど、地域の人や障害を持たない人からも支持されるということがこの祭を通して可能になるかも？ こぶしの会も、地域住民の皆さんと一緒に地域活性化の役に立つことができるかも知れないという芽生えみたいなものを感じたのは私一人の気休めでしょうか？ いやいや祭にこられた多くの方から、「開かれた祭」「明るい感じがする」「地域の方の参加が多いね」などお褒めの言葉の中からも、私一人の気休めではないのでは…

いつかはそんな日が必ず来ると信じて…

仲間の人たち、職員、家族会の皆さん、関係者の皆様 ボランティアの皆さん、その他多くの皆さんへ ありがとう！ ありがとう！！

ただ、この祭に参加できない仲間や家族の皆さん！ 来年は必ず！！

Column

一枚一枚に思いを込めて

紙漉き班は、男性4名・女性2名の班です。皆で毎日元気に紙漉き作業や体力作りの為の散歩、季節の取り組みとしてドライブなどに行っています。

今回は「紙漉き」の仕事を紹介したいと思います。

私達の仕事は、牛乳パックを再利用して、名刺やハガキを作ります。

一つの工程の中に、あらゆる作業があり、一人ひとりそれぞれが担当を持ち、皆で一つの製品を作っています。

中でも「ちぎり」（紙を細かくする）はとても根気が必要です。紙漉の元になる所なので、一番大事な仕事です。

「漉く」作業は、網をいっぱい溜めた水から一気に持ち上げるという、とても力が必要な仕事です。

「パキューム」は掃除機を改良し、漉いた紙の水を吸い取る作業です。「プシュー！プシュー！」とこっから中に大きな音が響き渡ります。

ゆっくりとその大きな掃除機を動かさないと網が破れてしまうので、とても慎重さが必要です。

「板はがし」は、干しておいた紙を乾燥させ、板から剥がす仕事です。ヘラで紙が折れないように…傷がつかないように…と、とても注意が必要です。よそ見しては出来ません！ みんな、みーんな大切な仕事です。

出来上がった紙を印刷し、注文して下さった方々に納品する仕事もあります。

お客さんに商品を手渡し、「ありがとう！また注文するね！」「ありがとうございました！」と交わします。見学者が来られると、自分たちの仕事を目を輝かせ、自信たっぷりに説明・紹介します。

紙漉き班の皆で、歌を口ずさんだり、笑ったり、おしゃべりをしながら作った、リサイクルの紙。一枚一枚思いを込めて、毎日皆で仕事に励んでいます！

（寺嶋真理子）



就労移行支援

Work support

すたあと

価値ある自分の発見

開所以来1年半が過ぎ、就職した7人を含み9人が「卒業」しました。離れていくのは寂しい。だからつながっていたい。ということで、すたあとは「こっから祭」をこのように位置づけました。プチ同窓会、そして新旧の仲間の交流会です。小さな施設ですが、新旧あわせると14人の仲間に育ちました。祭りの司会をしたり、ステージでそれぞれが働いている会社のことを発表したり、おいしい「豆腐丼」のお店を運営したり…。久しぶりの再開は、次の集まるイベントを考えるきっかけにもなりました。祭りの後の打ち上げBBQの時、携帯電話の番号やメールを教えあい、12月に忘年会をすることになりました。

会社に勤めている仲間たちは、6～10万円ほどの給料をそれぞれもらっています。

ある仲間が、「僕たちは仲間だけでボーリングやカラオケに行ってたけど、たくさんお金をもらうようになったので、仲間だけで日帰り旅行をしたいです」と語ったことには驚き

でした。就職したり、高い給料がもらえることが全てではありません。仕事をする中で価値ある自分を見つけられる、一緒にお金を使いたい仲間がいる、そんな大切なことを「卒業」してもつながり続ける仲間の姿が教えてくれます。…少しは職員も誘ってね。

（島 耕治）



ご参加下さった方の声

◆みんなが、一つになって祭を盛りあげている姿を見て、暖かいものを感じました。みんなが楽しそうに笑ってる顔が印象的でした。

いいお祭りに呼んで頂き喜んでます。

ありがとうございました。(相和太鼓)

◆まだまだ拙い芸ばかりでございましたが、皆様からたくさんの拍手や声援を頂き、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。障害のある方も地域の皆様も一緒になって祭を作り上げている雰囲気がとてもすばらしかったと思います。またいつか機会がありましたら是非呼びいただければと思います。

本当にありがとうございました。(風船太郎)

◆お祭りが地域にとっても溶け込んでいて感動しました。駐車場係の方がとても親切でした。ブース(スペース)もゆったりいただけて、販売しやすく前のステージの催しも楽しみながら参加させていただけて嬉しかったです。前日準備、当日もこっからスタッフさんが親切に指示を出して下さり動きやすかったです。学生も頑張って活動されて、小さい子どもから、ご年配の方まで楽しんでいたのが印象的でした。店舗の方も親しみをもって参加されていて温もりを感じました。きららの木は、とても楽しく参加させていただきました。一同感謝申し上げます。(きららの木)

◆マッケンジーソーブ展のプレ企画にも、たくさんの方が訪れて下さいました。前回の絵画展で見たよという方もいらっしゃいましたが、殆どが初めての方で、丸い大きな顔の子どもと、赤いハートのほほえましい世界に共感されていました。絵はがきやカレンダー、グッズもたくさん購入して頂きました。

来年奈良県立文化会館で4月の5日～17日まで原画展がありますとお伝えすると、是非見に行きたい、又詳しく教えて下さいとの声がたくさんありました。

今回は、ちょっとアンティークなすてきな特設ギャラリーを用意していただいてありがとうございました。こっからの皆さんとふれあう事ができたのも良い機会でした。感謝しています。(ほろぶエアーアンドアイ)

◆今年は最後まで祭を満喫させて頂きました。こっからの皆様お一人お一人の暖かく、熱い「祭」への思いが改めて伝わってきました。ご来場のお客様が最後まで楽しめたこと、ステージも表に移動されより強い絆で結ばれた賜物だと私自身、とてもうれしかったです。未熟ですがよりお役に立てれるよう更に勉強し頑張ります。宴をまた心待ちに、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(インディ)



『ふゅーちゃー』ではヘルパーやショートステイなどの在宅支援を提供させていただいています。

今回は直近の3ヶ月の提供状況をご報告いたします。

提供月	ヘルパー事業						ショートステイ事業	
	居宅介護	重度訪問介護	行動援護	移動支援	日中一時	短期入所		
平成22年8月	14 時間	10 時間	106 時間	151 時間	12 日	35 日		
平成22年9月	30 時間	8 時間	117 時間	114 時間	19 日	32 日		
平成22年10月	30 時間	8 時間	132 時間	129 時間	22 日	53 日		

ふゅーちゃーにおける支援提供実績（平成22年8月～10月）

かたつむり

主にショートステイで利用しているかたつむり。

2010年6月のオープンから早いもので半年が経ちました。

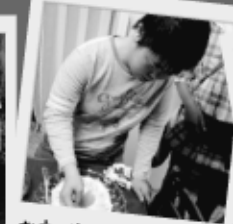
みんなで協力して夕食を作ったり、外食に行ったり、カラオケをしたり…と楽しくのんびりと過ごしています。今回は、かたつむりでのみなさんの様子をほんの少しだけではありますがご紹介します。



なかよしふたりぐみ



外食に行ったよ



お誕生日会の準備



お料理してます



わーい☆



サンドウィッチ作り



カラオケ熱唱中!



まだかなー



今日はエビフライ



くまと遊ぶ



エアホッケー大会



何にしようかなー

新しいスタッフの紹介



吉村 関雄

ぐうぐうハウスやかたつむりでなかまのみなさんのそばにいます。吉村関雄（よしむらときお）です。山と少しのお酒とおいしいものが大好きなおじさんです。



奥田 昌子

10月からかたつむりで泊まりとショート（日帰り）をさせて頂いています。かたつむりでの皆で過ごす時間・生活がどうしたら充実のある時間にできるかを一緒に考えていい時間を過ごしていただけるようにしていきたいと思っています。



井上 紫津子

10月半ばより、ふゅーちゃーの方でお世話になっています井上紫津子です。かたつむり、ひまわりの方の泊まりや外出支援に入らせてもらっています。これから、どうぞよろしくお願い致します。

なかま自治会

この間仲間自治会では、こっからの1年のうちでも大きな行事、「こっから旅行」を前にアンケートやしおりを手作りで作ったり、「こっから祭」についてどういったことをするかの話をしたり、9月13日に発足した「きょうされん奈良支部利用者部会準備会」にこっから代表として積極的に参加、報告をしたり、また自治会の要であるお金「会計」で全員が自分で計算をしていくらあるのか…?を知ったりと毎回多くの議題を話し合っています。

特に最近感じたのは、皆さん他の人を気遣う気持ちがすごく大きいことです。自治会のはじめに「今日の議題」を仲間から出してもらおうのですが、その中で「困っていること」「悩んでいること」がある時からふと出てきて、それについて一緒になってどうしていったらいいのかをそれぞれが意見を出し合い解決するまでじっくりと話し合いをしています。それをきっかけに色々感じるなどがあると自然と仲間の方から議題が上がります。歓迎会・送別会などの節目には仲間から「プレゼントや花束をあげてはどうだろうか?」といった優しい声があがったりと、すごく気付きにくい小さなこともどんどん議題にあがって、毎回仲間自治会ではそれぞれの役員さんが持つ「なかまのちから」が惜しみなく発揮されています。

(竹田悦子)



話し合い



第4回こっから講座



しおり作成

こっからの商品が **3** える
お店を紹介します

香 鈴 都

かりんと



住 所／奈良市下三条町2-1 (旧NTT奈良三条ビル北館)
奈良三条通り 工房「なら青丹彩」チャレンジショップ1F
営業時間／10:00～20:00
定 休 日／年中無休
なら青丹彩HP／<http://www.nara-aonisai.jp/index.html>

NPO法人奈良県社会就労事業振興センターが移転にともないチャレンジショップ「香鈴都」を運営されることになりました。

小さな店内に各施設で作られているオリジナル商品が並んでいます。こっからからは、「おからかりんと」と「紙漉きはがき」を販売しています。

11月20日にオープンしたばかりで、同じフロアには、セルフスタイルのカフェやスイーツのお店などもあります。

年中無休で、夜の8時まで営業していますので、ぜひお立ち寄り下さい。

豆を味わう

絹豆腐一万丁販売達成
ありがとうございました



食べ比べセット

おぼろ.....200g
豆乳入りおぼろ.....200g
青ばたおぼろ.....200g
ざるとうふ.....200g

1,400円
(税込・送料別)



にぎわいとうふセット

もめん.....380g
絹.....400g
おぼろ.....200g
ざるとうふ.....200g
豆乳プリン.....2個
緑茶プリン.....2個

2,400円
(税込・送料別)

※冷蔵でのお届けとなります。 ※贈答用としても承ります。(別途、送料クール代がかかります。)

蔵王の大自然に育まれた
契約栽培の宮城県産大豆「ミヤギシロメ」を
100%使用した「豆乳」と「にがり」
だけでつくる本格とうふです。

編集後記

今回の祭特集号は如何だったでしょうか?今年最後のピクイベントも無事終了し、ほっと一息つけるかと思いきや、年度末には全国的な障害者福祉情勢を学ぶための奈良県全域を対象とした一大フォーラムの企画や、来年度早々からの10周年記念事業の準備など、やっぱりゆっくりしている暇などなさそうです。そしてこっからやふゅ〜ちゃ〜自体も、来年度の事業計画を具体化していく時期となりました。いつの

間にか事業規模も拡大し、本当に多くの方たちがこぶしの会の活動に関わってくださっています。これまで10年間の成果と課題をしっかりと総括し、新たな10年に向けてみんなで願いや夢を語り、豊かな未来を切り拓いていきたいと思ひます。

後援会員の皆様、今年一年のご支援誠にありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願い致します。

FURUKI